

シロシストセンチュウに強く多収！

でん粉原料用ばれいしょ新品種「北海114号」

概要 Abstract

【長所】

- ジャガイモシロシストセンチュウ(Gp)抵抗性は「フリア」と同等の“やや強”で、Gpの密度低減または増殖抑制効果を期待できる。
- 上いも重およびでん粉重は「コナヒメ」に優る。

【短所】

- 小塊茎が茎から分離しにくい。
- 疫病抵抗性が“弱”、塊茎腐敗抵抗性が“極弱”である。



「コナヒメ」 「北海114号」

「北海114号」の主要特性： $\left[\begin{matrix} \text{一個重} \\ \text{軽い} \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{上いも数} \\ \text{多い} \end{matrix} \right] \times \begin{matrix} \text{でん粉価} \\ \text{やや低い} \sim \text{並} \end{matrix} = \begin{matrix} \text{でん粉重} \\ \text{重い} \end{matrix}$

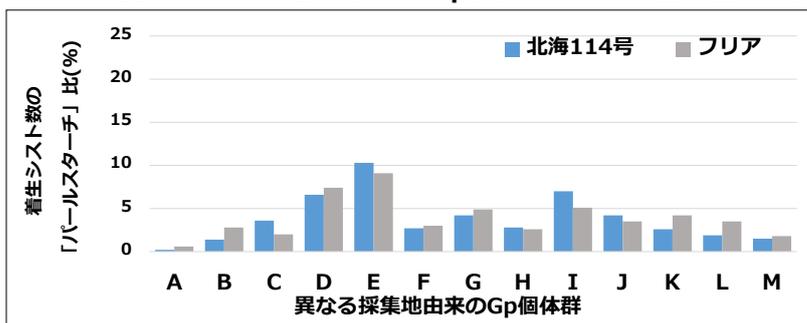
試験場所	品種・系統名	枯ちよう期 (月日)	茎長 (cm)	上いも			上いも標準比 (%)	でん粉価 (%)	でん粉重 (kg/10a)	でん粉重標準比 (%)
				数 (個/株)	一個重 (g)	重 (kg/10a)				
農試平均	北海114号	10/3	86.3	20.1	81.0	7,113	128	16.3	1,072	112
(N=10)	コナヒメ	9/22	84.9	13.2	96.8	5,569	100	18.3	960	100
現地試験	北海114号	9/29	96.6	15.3	73.4	5,184	110	19.5	964	113
(N=8)	コナヒメ	9/12	88.6	11.7	88.1	4,692	100	19.1	852	100

農試平均：北農研が4か年、北見農試3か年、十勝農試3か年の平均。
 現地試験：更利村現地2か年、土幌町現地2か年、斜里町現地2か年、中標津町現地2か年の平均。
 枯ちよう期未達となった試験区は平均から除外し、未達となった年度を含む平均値は斜体で示した。

「北海114号」のGp抵抗性：「フリア」と同等の“やや強” (令和4-6年北海道農業研究センター本所)

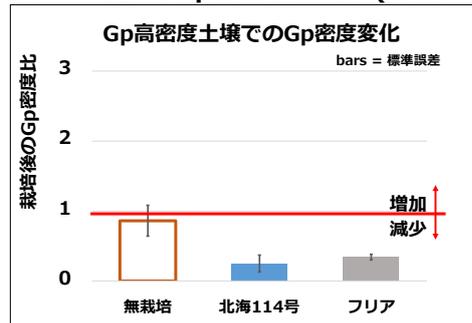
感受性品種栽培時に比べてGpの増殖を1/100~1/10程度に抑えることが可能

「北海114号」と「フリア」の複数のGp個体群に対する抵抗性の比較



Gp個体群採集地：網走市3、斜里町8、清里町2（順不同）。
 「パレイショのジャガイモシロシストセンチュウ抵抗性検定マニュアルによる。」

「北海114号」のGp密度低減効果(圃場試験)



参考：同じ土壌でのポット栽培では「パールスターチ」栽培時にGp密度は約40倍に増加した。

普及見込地帯

北海道（Gp発生履歴のある圃場およびその周辺地域、Gp侵入リスクのあるでん粉原料用作付地域を主とする）。普及見込み面積 260ha

栽培上の注意点

- 枯ちよう期が遅く、未熟塊茎や小塊茎が茎から離れにくい場合があるので、収穫時期には留意する。また収穫後の野良いも対策を徹底する。
- 疫病抵抗性が“弱”、塊茎腐敗抵抗性は“極弱”であるため、栽培期間中茎葉の疫病防除を徹底する。
- Gp発生履歴のある圃場における栽培については、国や北海道の指導に従う。
- 二次生長が発生しやすい場合がある。

※本成果は、戦略的スマート農業技術等の開発・改良事業「ばれいしょの輸出を促進するジャガイモシロシストセンチュウ類低減・管理技術の開発」(SA2-104P)の研究成果である。

お問い合わせ先 農研機構北海道農業研究センター 研究推進部研究推進室
 同 寒地畑作研究領域畑作物育種グループ
 〒062-8555 北海道札幌市豊平区羊ヶ丘1番地
 電話：011-857-9260 E-mail：cryoforum@ml.affrc.go.jp
 URL：https://www.naro.go.jp/laboratory/harc/